

6月29日に、垂水市庁舎等のあり方検討委員会から、
また、7月11日に垂水市議会から、市庁舎の耐震
補強工法における要望書をいただきました。

委員の皆様、議員の皆様には、丁寧にご議論
いただきました事に、まずは感謝申し上げます。

これまで申し上げておりますとおり、庁舎につきま
しては「まずは垂水市民、市役所職員の安全確保を
最優先とする」との考えのもと、現庁舎は「RC壁に
よる開口閉塞と鉄骨ブレースを挿入する内付主体の
工法」を基本として進めてまいります。(耐震化)

また、庁舎のあり方につきましては、新庁舎建設や
リノベーションを含め、様々な観点から議論を行う
必要がありますことから、執行部としまして、引き
続き、慎重丁寧な議論が行える様努めてまいり
たいと考えております。今後とも、皆様のご理解
とご協力をよろしくお願い申し上げます。

垂水市長 尾脇 雅弥

外部検討委員会

垂水市庁舎等のあり方検討委員会



▲外部検討委員会の様子

現庁舎の耐震補強工法の方向性に対する意見書

本委員会は、令和3年5月24日の第1回委員会の開催以降、今後の庁舎等のあり方について、市民目線による多様な意見を反映し、専門的、総合的に検討を行う議論を重ねてまいりました。

現庁舎の耐震補強工法の方向性については、令和4年6月8日の第6回委員会において、耐震補強の方向性が2案示されましたことから、令和4年6月28日の第7回委員会において議論を行い、次のとおり意見をとりまとめました。

● 現庁舎の耐震補強工法の方向性について

垂水市庁舎（本館棟及び増築棟）の耐震補強の方向性については、本委員会や議会から「市民の皆様や職員の安全確保の観点から早急に耐震補強を行うべき」との意見、要望をもとに、「コスト、施工性、利便性、意匠性」について検討を行った結果、B案の「RC壁による開口閉塞と鉄骨ブレースを挿入する内付主体の工法」を基本に進めることが望ましいものとする。

これまでの意見の繰り返しになるが、庁舎を利用する市民の皆様、働く職員の安全確保の観点から早急に耐震補強を行うよう要望する。

垂水市議会



▲庁舎整備検討特別委員会の報告をする感王寺耕造委員長

市庁舎の耐震補強工法における要望書

本委員会では、令和3年5月28日に設置され、庁舎の課題である耐震化について調査・研究を行ってきた。外部検討委員会からの報告やこれまでの本委員会での協議を踏まえて、以下のとおり要望するものとする。

● 市庁舎の耐震補強工法の方向性について

市庁舎本館及び増築棟の耐震工事については、これまでも議論を行い、市民の将来の負担にならないように必要最低限に留め、また、安心安全確保の観点から早急に耐震補強を行うよう求めてきたところである。

今回、耐震工法について様々な観点から検討を行い、「RC壁による開口閉塞と鉄骨ブレースを挿入する内付主体の工法」を基本として進めることを要望する。

※ 令和4年第1回垂水市議会臨時会の様子は、右記のQRコードよりご覧いただけます。
今後も、開かれた議会を目指し情報発信をしてまいります。



▲議会の様子はこちら